

検査		項目と意義	宿泊ドック		日帰りドック	生活習慣病	定健B	定健A	特定健診
			A	B					
診察	問診	病歴、自覚症状などの質問をもとに医師が予備的な情報を得ることが出来ます。。	○	○	○	○	○	○	○
計測	身長・体重・腹囲	標準体重・肥満度・BMI(体格指数)・腹囲を測定します。	○	○	○	○	○	○	○
	視力検査	近視・遠視などの目の働きをみます。	○	○	○	○	○	○	
	聴力検査	難聴などの有無を調べます。	○	○	○	○	○	○	
	理学的検査	心臓、肺の聴診、胃腸、肝臓触診、貧血や甲状腺の腫れも調べます。	○	○	○	○	○	○	○
	体組成		○	○	○				
	血圧測定	血管に圧力がかかっている度合いを調べます。	○	○	○	○	○	○	○
尿検査	糖	尿に糖が出現すると、血中の糖が高いこと示します。	○	○	○	○	○	○	○
	蛋白	普通は尿に蛋白は出ませんが、出現すると腎疾患等が疑われます。	○	○	○	○	○	○	○
	ウロビリノーゲン	ビリルビンが腸の細菌で変化したもので一部が肝・腎臓を出ると、肝臓障害や溶血性貧血が疑われます。また全然見られないと、胆嚢疾患や閉塞性黄疸等が考えられることもあります。	○	○	○				
	pH	尿のpHは弱酸性で、体の酸・塩基平衡を保っています。	○	○	○				
	比重	尿にどれだけの物質が溶けて含まれているかで重さが変わります。	○	○	○				
	潜血反応	尿に血液が出現すれば、尿路に結石、腫瘍、感染などが疑われます。	○	○	○	○	○	○	
	沈渣	尿に出現する細胞の種類、細菌などを顕微鏡で調べます。	○	○	○				
糞便検査	免疫便潜血反応	消化管の出血性疾患や大腸癌のふり分け検査で、連続して2日間実施すると早期癌やポリープなどを発見出来る可能性があります。	○	○	○	○			
	虫卵検査	寄生虫(幼虫・卵)を探します。川魚などに寄生することがあります。		○					
血液学的検査	赤血球数(RBC)	赤血球の数を調べ、貧血を調べます。	○	○	○	○	○		
	白血球数(WBC)	白血球は細菌などの防御に働き、多ければ炎症や感染症を疑います。	○	○	○	○	○		
	ヘマトクリット(Ht)値	赤血球の大きさを見るもので、低ければ貧血の可能性ががあります。	○	○	○	○	○		
	血色素量(Hb)	酸素と結合し、組織へ酸素を運びます。低ければ酸素を運べません。	○	○	○	○	○		
	ウイントローフ指数	赤血球、Ht、Hbを組み合わせて計算し、指数(MCV、MCH、MCHC)を求め、貧血の分類をします。	○	○	○	○	○		



(社) 全国社会保険協会連合会 ヘルスケアシステムネットワーク

全国に広がる51病院ネットワークグループ

社会保険 滋賀病院 健康管理センター 077-537-3101 (Fax 077-533-3911)

検査	項目と意義		宿泊ドック		日帰ドック	生活習慣病	定健B	定健A	特定健診
			A	B					
血液学的検査	血小板数(PL)	血管から血液が漏れ出さないように、止血の役目を担っています。	○	○	○	○	○		
	血液像	白血球細胞の種類と、質を顕微鏡で判断します。	○	○	○				
	ヘモグロビンA1c(HbA1c)	血色素にブドウ糖が結合した物で1~3ヶ月前の血糖状態を反映します。	○	○	○	○	○		▲
	赤血球沈降速度	赤血球数と血中の蛋白に左右され炎症があると早く沈みます。	○	○					
	血液型(ABO, Rh型)	ABO式とRh(D)式型を調べます。	○	○	○				
感染症検査	HBs抗原	陽性であればB型肝炎ウイルスに感染している可能性があります。	○	○	○				
	HCV抗体	C型肝炎ウイルスに感染して体内で作られる抗体を調べます。数値が高いと現在の感染が考えられ数値が低いと過去の感染を示すと思われます。	○	○	○				
	TPHA定性試験	梅毒は、トレポネーマ・パリダムという細菌感染。その抗体をの有無を調べます。RPRと同時に検査します(それぞれ一長一短があり)。		○					
	RPR定性試験	TPHAと同様に梅毒の感染した場合に出現する抗体をとらえるものです。		○					
	便中ヘリコバクター・ピロリ抗原 血清ヘリコバクター・ピロリ抗体 ペプシノーゲン	便中ピロリ菌抗原、血清ピロリ菌抗体、血清ペプシノーゲン検査の3つの検査を同時に行い、より正確な判定をします。この3つの検査で胃がんになりやすさを高・中・低の3段階に分けて判定します。	○ ○ ○	○ ○ ○	○				
炎症検査	C 反応性蛋白	組織の炎症・破壊を探知する検査で急性炎症を見る検査です。	○	○	○				
	RF定量	関節リウマチの診断基準の一つとして用いられます。		○					
生化学検査	蛋白分画	血漿蛋白を電氣的に分けます。主に肝機能障害を調べるものです。		○					
	直接ビリルビン	増加は肝細胞障害や肝内胆汁のうっ滞、胆道閉塞が考えられます							
	総ビリルビン	直・間接ビリルビンを合わせた物で肝疾患か溶血性疾患かを区別します	○	○	○				
	尿アマラーゼ	分泌組織(膵臓か唾液腺)異常によって尿に出現します		○					
	血清アマラーゼ	血清、尿とも高値の場合は、膵炎、耳下腺炎が疑われ、尿のみが高い場合は絶食時間が長い脱水であると考え、血清だけが大きい場合、腎臓排泄障害、肝疾患、両方とも高い時は慢性膵炎が考えられます		○	○				
	LAP(ロイシンアミノペプチダーゼ) ChE(コリンエステラーゼ)	主に肝・胆嚢などに存在し、肝、胆道の閉塞状態を調べます コリンエステルの分解酵素で肝細胞で作られ、減少は肝細胞障害を疑います							



検査	項目と意義		宿泊ドック		日帰りドック	生活習慣病	定健B	定健A	特定健診
			A	B					
生化学的検査	空腹時血糖	食物を摂ると血糖値が上がり、空腹時に採取して、高値だと糖尿病を疑います。			○	○	○		▲
	ブドウ糖負荷試験(GTT)	糖尿病、糖代謝異常の診断のために行う検査。空腹時にブドウ糖を服用し、空腹時とその後の血糖値変化を調べます。	○	○					
	総コレステロール(T-cho)	細胞膜、血管壁、副腎皮質ホルモンなどの合成材料、多いと動脈硬化の危険因子となります。	○	○	○	○	○		
	LDL-コレステロール	コレステロールを細胞まで届ける役目、増加は動脈硬化を促進します。	○	○	○	○	○		○
	HDL-コレステロール	余分なコレステロールを肝臓に運び分解(善玉)。低下すると動脈硬化になります。	○	○	○	○	○		○
	LDL/HDL-コレステロール比	LDL-C,HDL-Cが正常でも、LH比が高いほど動脈硬化が進みます。	○	○	○	○	○		○
	血清鉄(女性対象)	血中の鉄利用状況や造血能力が解り貧血の指標になります。	○	○					
	中性脂肪	肝臓で合成されるエネルギーで増加すると脂肪肝や肥満になり、動脈硬化へと進展する可能性があります。	○	○	○	○	○		○
	総蛋白(TP)	いろいろな栄養の運搬に関与しますが、肝機能障害があると低下。	○	○	○				
	乳酸脱水素酵素(LDH)	全身のあらゆる細胞に含まれる酵素。組織破壊や臓器障害、肝機能が悪くなると値が高くなります。	○	○	○				
	アルブミン	血液蛋白の60%を占め、水分保持と血液循環に関与したり、運搬作用を持ち、栄養状態が悪い時や肝障害があると低値になります。	○	○	○				
	アルブミン/グロブリン(A/G)比	肝障害、悪性腫瘍、ネフローゼの程度を知るための簡易な方法です。	○	○	○				
	GOT(AST)	蛋白質の原材料の生成に関わる微量酵素で、肝障害があると鋭敏に増加。	○	○	○	○	○		○
	GPT(ALT)	GOTと同じアミノ酸生成に関わり、肝機能の指標で、特に肝炎や脂肪肝で鋭敏に高くなります。	○	○	○	○	○		○
	γ-GTP(γ-グルタミルトランスペプチターゼ)	蛋白分解酵素の一つで、腎臓、肝臓、膵臓に多くあり、飲酒や肝・胆道系の疾患で高値になります。	○	○	○	○	○		○
ALP(アルカリフォスファターゼ)	有機リン酸エステル分解酵素で、肝臓、腸粘膜、骨などに含まれ、肝胆道系疾患、妊娠時、骨疾患で増加します。	○	○	○	○				
尿酸	プリン体が代謝された時の残りがすの様な物で、ほとんどは排泄されますが、プリン体の多い食べ物を摂ると高尿酸血症となり、尿路結石や痛風、腎臓障害などを起こすおそれがあります。	○	○	○	○				



検査	項目と意義		宿泊 ドック		日帰ドック	生活習慣病	定健B	定健A	特定健診
			A	B					
生化学的検査	クレアチニン (Cr)	腎機能障害があれば血中濃度が上昇します。	○	○	○	○			
	尿素窒素(BUN)	腎臓障害で、血中に上昇。但し、高蛋白食でも高くなりますので、Crと併せて腎臓機能を評価します。	○	○	○				
	糸球体濾過値(e-GFR)	糸球体がどのくらい働いているかを表す値です。	○	○	○	○			
	癌胎児抗原(CEA)精密(各種腫瘍の指標)	消化器癌や肺・乳房・卵巣癌の指標となりますが、陰性の場合や良性疾患の場合でも陽性になる場合もあります。		○					
肺癌検査	喀痰細胞診検査	痰の中の細胞を顕微鏡下で観察し、悪性か良性かを判断します。		○					
子宮癌	細胞診、問診	子宮頸部から細胞を採取し、顕微鏡で調べます。	♀○	♀○	希望♀のみ○	希望♀のみ○			
乳癌	視診・触診女性のみ	女性のみ行います。乳房の視診、触診を行います。乳房検査にはマンモグラフィーをお勧めします。	♀○	♀○	希望♀のみ○	希望♀のみ○			
前立腺癌	前立腺特異抗原(PSA)精密	前立腺上皮という組織でつくられる糖蛋白で、前立腺癌ができると上昇することがあります。		50歳以上♂○	50歳以上希望のみ♂○	50歳以上希望のみ♂○			
健康相談	保健指導、栄養指導	健康増進や健康不安、生活習慣など個別に栄養相談、保健相談、運動指導など医師、栄養士、保健師が行います。	○	○					
歯科検査	歯科一般検査	虫歯、歯槽膿漏など歯周病の有無をチェックします。		○					
眼底検査 眼圧検査	眼底カメラ(フィルム2枚)、 眼圧検査	眼底や網膜の病気、高血圧、動脈硬化、糖尿病の情報が得られます。	○ ○	○ ○	○ ○				
肺機能検査	フローボリュームカーブ、 肺年齢、酸素飽和度	呼吸の予備力を評価します。また肺年齢も算定してお知らせします。また血液中の酸素がどの程度溶けているかも調べます。	○ ○	○ ○	○ ○				
心電図	12誘導、心拍数	不整脈、心肥大、狭心症、心筋梗塞などの心臓の状態を調べます。	○	○	○	○	○		
腹部エコー	断層撮影法(Bスコープ)	肝、胆嚢、膵・脾・腎臓などに超音波をあて病変を調べます。	○	○	○				
胸部X線	直接(大角2枚)正、側面	主に肺、心臓の様子を大きく被曝量の少ない写真で調べます。	○	○	○	○1枚	○1枚	○1枚	
胃部X線	直接撮影(7枚)	食道、胃、十二指腸の大きなレントゲン写真で調べます。			○	○			
胃部カマ	上部消化管内視鏡	上部消化管内視鏡胃カメラ(バリウムは使いません)で見ます。	○	○					
料金 (税込) 単位 円			* 欄外		40,000	23,000	8,500	4,800	8,449

\* 宿泊A 料金女性61,766円 男性58,500円 \*宿泊B 料金女性71,531円 男性69,735円

\*\* 日帰りドックの乳癌、子宮癌検査ご希望の女性の方は料金43,150円 PSAご希望の男性の方は料金41,470円

\*\*\* 生活習慣健診の乳癌、子宮癌検査ご希望の女性の方は料金26,150円 PSA ご希望の男性の方は24,470円